

前回検討会（第15回 令和元年7月18日）における主な意見（案）

① 医療計画における救急医療の課題について

- MC 協議会にかかりつけ医、介護施設の関係機関が参加するという方法の他に、地域で行われている多職種連携会議に救急医療の関係者が参加した場合も指標として評価することが地域医療・在宅医療の観点から望ましいのではないかと。
- 中核・高次の救急医療機関とその周辺の救急医療機関との間の病院間搬送における実態とその後の転帰、予後については、連携体制の質の評価として良いのではないかと。
- 救急医療体制の継続可能性を評価するために、救急医療にかかる医師の労働状況、生産性の向上を目指した集約状況、タスクシフトによる救急医療に関わる医師の負担軽減の状況等についても指標を定める必要があるのではないかと。
- 各圏域の中核病院における診療科別医師数について、人口規模別に指標化していく必要があるのではないかと。
- 地域医療構想における病床算定の根拠となっている NDB データについて、救急の面でも活用できないか検討すべきではないかと。
- 既存の DPC 様式 1 のデータの代用等、医療機関にあまり労力をかけない指標を検討すべきではないかと。
- 指標として示した項目が選択されないことに関して、考察がいろいろあるのではないかと。
- 「転棟・退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数」について、多くの都道府県で活用されるための検討を行ってはどうかと。
- 救命救急センターにおける看護師配置について項目の検討及び反映について、検討いただきたい。
- アウトカムについて、DNAR や ACP 等を踏まえた救急医療を考慮する場合、積極的な治療を考慮すべき事案だったかという分類は、予後評価の上では影響すると思われ、類型化で考えるべきではないかと。
- アウトカムについては、社会復帰又は機能予後といった観点からの指標を作成することに加え、今後は疾患毎の統計も求められるのではないかと。
- ユーザーである地域住民の満足度は大きなアウトカム指標の 1 つであり、今後検討すべきではないかと。

② 医療計画における災害医療の課題について

- 第8次医療計画作成に向けた検討に当たっては、災害医療の指標として、DPAT や災害拠点精神科病院などについても指標に盛り込むべきではないか
- 災害や救急医療提供体制において、県と政令指定都市の関係性によって、スムーズな体制を築けないという実態があるのではないのか。
- EMIS は医療圏ごとの患者の搬送状況をリアルタイムに把握するには使いにくいツールである。
- 災害医療体制の評価について、災害時の連絡体制や、搬送等に係る取組体制の充実度に対する評価を行うべきではないか。
- 都道府県で、どのような災害教育体制を取っているのか（教育研修、コーディネート研修等）が、指標として適しているのではないか。
- 保健医療調整本部の通知（「大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について」）を指針に盛り込むことには賛成するが、災害訓練等でも保健所が参加しない場合もあり、保健所以下での災害医療提供の連携体制が見えないため、介入を強化していくべき。
- 災害拠点病院は、支援機能と（受援）拠点としての機能を両方持っているが、そのどちらがより求められている機能なのか等を明確にするべき。
- 災害時の地域の医療供給における脆弱度、リスク分析を災害関係の会議等の場で行っているか、その具体的な課題の抽出をしているか、は指標になり得る。
- 南海トラフ等の大規模災害において、広域搬送等、近隣都道府県との関係は非常に重要と考えるが、そのあり方が明示されたものがないのではないか。防災基本計画等どのようなになっているのか、また医療計画等との関係はどのようなになっているのか。
- 避難所の整備等、避難者の健康維持（疾病発症抑制）に対する準備、体制について指標とするべきではないか。
- 災害時に被災地内の病院間搬送の体制が整っているかを指標に入れるべきではないか。
- 診療データの保存等が、後々の災害の検証において災害医療におけるアウトカム評価に重要と思われるため、統一した診療記録の保存等に関して取組を行うべきではないか。

- 災害拠点病院等の BCP において標準例を示すことが必要ではないか。(地域差を比較することが出来るため、BCP の有効性や効率性の評価が行えるため)
- 診療データの保存においては、J-SPEED が有用なのではないか。
- BCP や病院の復興も定式化した方が良いのではないか。
- (災害医療訓練においても) 他の省庁主導の (いわゆる防災) 訓練との整合性をとっていくべきではないか。病院や地区で行う小規模な訓練に関して、(好事例等の) 横展開が必要ではないか。
- EMIS の改修はもっと早いスケジュール感で行うべき。今後変更する回線は IPv6 の規格を用いるべき。
- EMIS のユーザーインターフェースにおいて、パブリックコメント等の募集はないのか。